

安心のお客様サポート

MORPHO社はEゲートシステムのプロジェクトからメンテナンスまで、お客様をトータルにサポートいたします。

プロジェクト立案	設置・運用	メンテナンス
<ul style="list-style-type: none"> 課題分析、ソリューション提案 シミュレーション実施 関連施設とのコーディネート 全体ビジネスモデル構築など 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト立案・遂行 設置、テスト 管理者、オペレーターへのトレーニング実施 運用方法の提案 	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンス分析 緊急時カスタマーサポート ローカルサポート 技術者へのトレーニング

お客様のご要望に応じたサービス提案

MORPHO社は6,300人の社員を世界中に配置し、お客様のご要望に応じたサービスを行っております。更に、現地代理店を通じ、お客様のプロジェクトやご要求内容に応じたサポートを行います。

オーストラリア・スマートゲートプログラムでの実績

2001年以降の急激な空港利用者増加に対し、オーストラリア税関及び入出国管理事務所は、スマートゲートを用いた新たな管理システムを開発することを決断しました。2002年から2004年の開発段階において、MORPHO社は様々な関連事業所と連携しながら、オーストラリアにおける最適な入出国管理プランを構築し、2007年より運用を開始しました。Eゲート内では、利用者によるセルフ書類チェックと生体認証による2種類のチェックを行う手法を採用し、アデレード・ブリスベン、ケアンズ、ゴールドコースト、メルボルン、パース、シドニーなど7つの主要空港で運用されています。

ニュージーランドでの実績

オーストラリアでの実績を踏まえ、2009年よりニュージーランドのオークランド、ウェリントン、クライストチャーチ空港でもMORPHO社のEゲートが導入されました。導入後4か月間で行われた利用者調査でも高い評価を獲得し、ニュージーランドのプロジェクトマネジメント機構(PMINZ)より、2010年度PROJECT OF THE YEARを受賞しました。

フランスでのPARAFEプログラム

PARAFEプログラムは、フランス入出国管理局によるパスポート管理の自動化を目的とするプログラムです。ヨーロッパで機械読み取り可能なパスポート及びEパスポート(事前登録済み)、簡易的生体認証パスポートのデータベースと共有することが可能です。Eゲートで取得された情報は、フランスの国家管理システムに連携することが出来ます。既に、シャルルドゴール空港及び、オールリー空港ではPARAFEプログラムに基づいたMORPHO社のEゲートが導入されています。エアライン及び空港利用者への調査結果では、98%の顧客満足度を獲得しました。

KEY MISSIONS, KEY TECHNOLOGIES, KEY TALENTS

MORPHOWAY™

AUTOMATED BORDER CONTROL SOLUTION

THE GATEWAY TO MODERN TRAVEL

Printed in France - Photos: Thinkstock - D10273 - 10/11

～より速く、確実な入出国管理の実現へ～

空港利用者の急激な増加に加え、テロや不法入国などのリスク意識の高まりから、政府や空港当局は、生体認証技術を用いたEパスポート、Eビザなどによるスピーディ且つ確実な入出国管理への移行が求められています。

NO.1の生体認証システムプロバイダーによるEゲートシステム

オーストラリア・スマートゲートプログラムでの実績

MORPHOWAYの全自動Eゲートシステムは、最新の入出国管理手法に着目して開発されました。MORPHOWAYは、安全性の確保と迅速な手続きという2つの相反する課題を同時に解決することを可能にしました。指紋認証や虹彩（アイリス）、顔認証など最新の生体認証テクノロジーを駆使することで、MORPHOWAYは安全性を高めながらも迅速な認証作業を実現し、入国審査における待機時間を大幅に削減します。

MORPHOは全自動ゲートシステムのパイオニアです

MORPHOは全自動ゲートシステムのパイオニアとして、生体認証技術を用いた新たなEゲートシステムの開発に取り組んできました。現在も、世界中の入出国管理にMORPHO社の全自動ゲートシステムが採用されています。

例：オーストラリア主要空港におけるEゲートシステム（ICAO仕様Eパスポート対応）、英国、フランスでの虹彩（IRIS）を使用した特別プログラムなど

MORPHOWAYの利用者

- ・ 自国民
- ・ ビザ免除者
- ・ 外国人
- ・ その他（入出国頻度の高い利用者など）

MORPHOWAYは不正入国防止に向けた取り組みをサポートします

1. 旅券書類の自動チェック
 2. 生体認証チェック: 生体認証アルゴリズムを利用した認証チェック
 3. 忘れ物自動検知アラーム機能
 4. モニタリング機能: 外観は透明部分が多くオペレーターが目視で対象者を確認することが可能です。CCDカメラ搭載により、監視室へリアルタイムに画像転送が可能です。
 5. 警戒リストのリアルタイム検索・照合機能
- MORPHOWAYの導入により、二次的に偽造・不正パスポートによる不法入国を抑止する効果もあります。

MORPHOWAYのメリット

1. 空港施設関係者: 利用者の快適性向上
2. 政府関係者: より確実なスクリーニングによる安全性向上
3. 警察及び入国管理者: 要注意人物を早期特定することによるリソースの削減
4. 空港利用者: 高精度なスクリーニングによる安全性向上と快適な利用環境

～より速く、確実な入出国管理の実現へ～

セキュリティを最優先したシステム

- ・ 旅券書類の信憑性チェック
- ・ 旅券保有者と本人の照合
- ・ 入国許可者の確認

特徴

- ON-THE-FLY（高速）顔認証
- 高速且つ簡単で、利用者に負荷が少ない顔認証技術
- リアルタイム認証
- 様々なカスタマイズが可能
- 電子書類読み取り機は、ゲートの中や入口のどちらにも設置可能
- 接触型、非接触型どちらの電子書類読み取り機の設置が可能
- ICAO標準書類に準拠
- 複数台での同時運用が可能
- モニタリングステーションとの運用連携

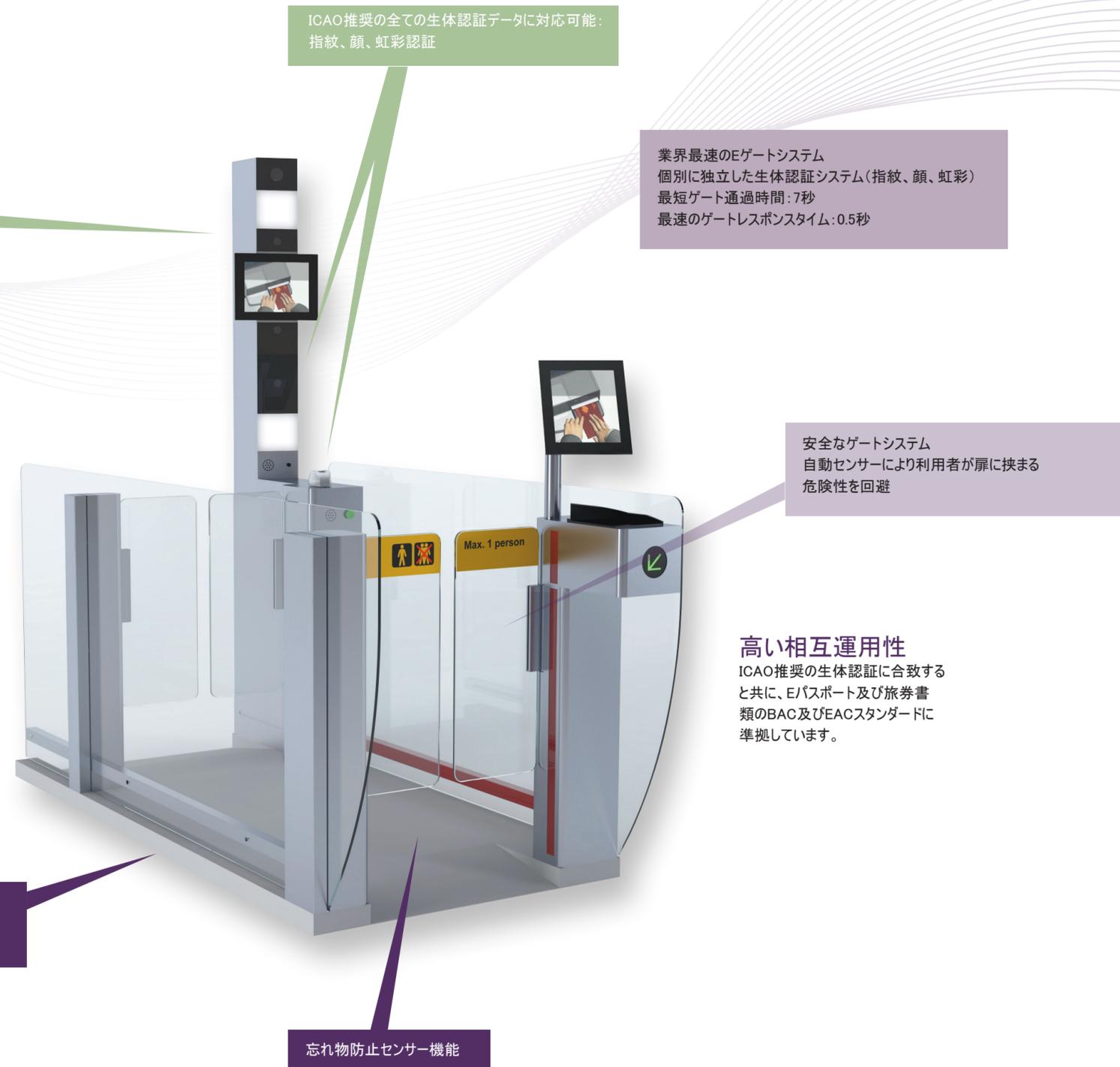
ゲートシステムの最適化

MORPHOWAYネットワークを最大限に活用することで、さらに効果的な入出国管理が可能になります。

- ・モニタリングステーションの利用により、出入国管理者が同時に複数のEゲートを管理することが可能になります。
- ・データ分析とレポート作成: ゲートを通過した利用者の人数、検挙率、平均通過時間、利用頻度など
- ・テクニカルモニタリング: お客様の環境に応じ、MORPHOWAY以外のモニタリングシステムとのインターフェイスが可能です。また、独自モニタリング機能によるソフトウェア管理も可能です。

コンパクトなデザイン

取付寸法: 2.5m² (1.058M X 2.410M)
ゲート内幅: 0.65M (オプションにより0.9Mまで拡大可能)



忘れ物防止センサー機能